

## 第10回世界周産期学会における坂元正一賞応募の御案内

皆様におかれましては益々御壮健のこととお喜び申し上げます。

さて、この度「第10回世界周産期学会」が2011年11月8日(火)～11日(金)にウルグアイのモンテビデオで開催される予定になっております。

第1回世界周産期学会は、坂元正一先生を会長に日本で行なわれ、天皇皇后両陛下お二人の御臨席の下に大成功をおさめたことは、我々の記憶に深く留められています。その意味で、坂元正一先生は世界周産期学会の生みの親と言っても過言ではありません。

今回の学会が第10回という記念の学会であるばかりでなく、開催地のモンテビデオは、坂元正一先生と親しかった R. Caldyro-Barcia 教授が、世界で最初に陣痛の単位として Monte-video Unit と呼ばれた指標を世に出した、歴史的にも周産期医学発祥の地と言えます。

そのような背景から、私達はこの機会に坂元正一賞を企画・提言致しましたところ、幸いにも学術学会長の Justo Alonso 教授が、坂元正一賞を学会プログラムに組み込んでくださいました。

坂元正一賞は第10回世界周産期学会発表応募の中から、若手研究者を対象に3演題を選考委員会を選び、学会期間中に賞状・賞金(3,000US \$ 予定)が授与され、論文はJPMに掲載されることになっております。

今回、Justo Alonso 会長から、日本からの参加を募るメールが参りましたので下記に添付いたします。是非多くの若い研究者の坂元正一賞への応募を期待しておりますので、皆様からの御喧伝をお願いいたします。

2011年3月

第10回世界周産期学会・坂元正一賞 企画委員会  
選考委員長 岡井 崇  
事務局長 仁志田 博司  
委員 前田一雄、他

We are addressing you in the name of the secretariat of the X World Congress of Perinatal Medicine, to request you to disseminate to the medical community of your country the possibility of submit an abstract to participate by Sakamoto Award in the frame of the event we are developing. I enclosed a link where you can find the basis for the Submission [http://www.10wcpm.info/documentos/Sakamoto\\_Award\\_Rules.pdf](http://www.10wcpm.info/documentos/Sakamoto_Award_Rules.pdf) In order to apply for this Award, papers should be presented in full form as

to be published in the Journal of Perinatal Medicine

<http://www.degruyter.de/files/down/instructions/jpminstr.pdf> as Original contributions reporting on new results, particularly from the clinical and experimental areas.

Manuscript: approx. 8 pages. Abstract: approx. 200 words. References should be limited to max. 35 citations.

Submission of papers will be exclusively via the webpage of the 10WCPM in English ([www.10wcpm.info](http://www.10wcpm.info))